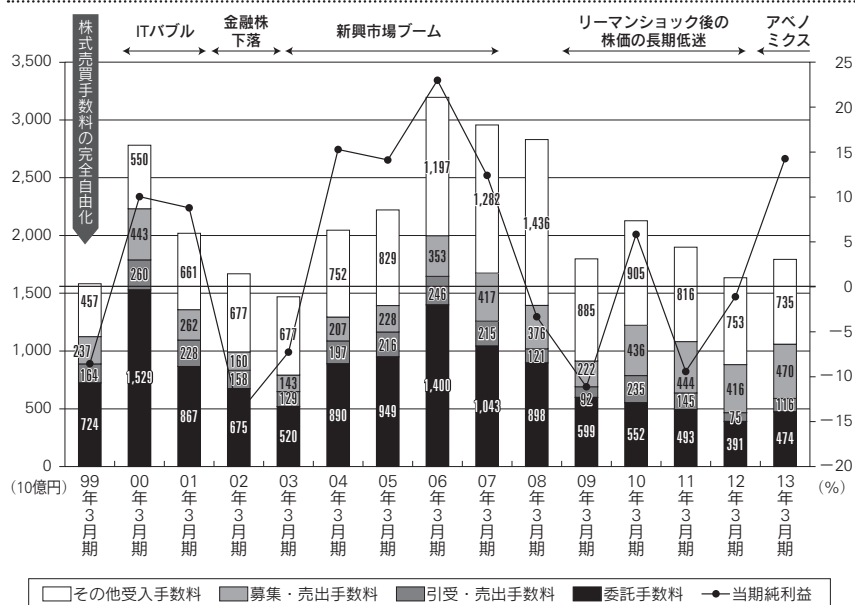


図0-1 証券業界における受入手数料と利益率の推移



出所：日本証券業協会「会員の決算状況」より作成

ターネット型ビジネス」と「富裕層中心の対面型ビジネス」に2極化していった様子が見てとれる。

1-2 顧客数を多く抱える「格安インターネット型」、預り資産が多い「富裕層中心の対面型」

この2つのモデルの違いは、証券会社の「利用者数」「預り資産残高」「受入手数料収入」を比較してみるとよくわかる。図0-2がそれに当たる（なお、「大手証券」「準大手証券」「中堅証券」の定義については、日本経済新聞社が使用する「主要証券20社」の定義に従った）。

- 利用者数の面では、「対面型」に比べて、「インターネット型」の方が多く、「インターネット型」が集客面ではリードしている。インター